

レポート：可逆プログラミング言語 ROOPL のインタープリタの実装

進捗状況：

- ・ 様々な文献調査。

- ・ 可逆計算とは、計算過程において、どの状態からもその直前と直後の状態が一意に決まる計算モデルという事を理解。

プログラム：字句解析器、構文解析器、式、文を評価する関数まで完成。

やること：・ PISA オンラインインタプリタ PHPISA や Janus インタプリタを実行する。

- ・ 様々な文献を読む。

- ・ 可逆プログラミング言語の処理系について調べる。・ SRL2RL についてまとめる。

- ・ 他の可逆プログラミング言語について調べる。

- ・ ROOPL のサンプルプログラムを作成、実行。

- ・ 可逆プログラミング言語の処理系の実行。(計画) 実装の手順としては、

1. データ型の定義
 2. 字句解析器と構文解析器の実装
 3. インタプリタの実装
 4. Pretty-printer の実装
 5. トップレベルの関数の定義
- の順番で作成する予定。